



日刊（但土曜 日曜 祝日休刊）
定額1カ月4,115円（送料十税込み）

発行所
◎◎ 保険毎日新聞社
東京都千代田区岩本町1丁目4番7号
〒101-0032
電話 03 (3865) 1401 (代表)
電 音 00140-6-70860
◎ 保険毎日新聞社

SBIHD 17年3月期第3四半期決算

損保は12%の高成長持続

SBIホールディングスは1月31日、東京都千代田区のホテルニエールにて2017年3月期第3四半期決算説明会を開催した。SBI損保の自動車保険の保有契約件数は前年同期比11%増、元受正味保険料も同12%増と2桁成長を維持した。SBI生命は堅調な業績を維持し、少額短期保険事業の保有契約件数も順調に増加した。北尾吉孝社長は、グループの保険会社を統合する保険持ち株会社を本年度中に設立して、損保、生保、少短3事業を一体化した効率的な経営を実現すると強調した。

生保・少短で商品拡充

グループ全体の連結業績（IFRSベース）は、売上高が前年同期比8%増の1,035億7,000万円、税引前利益は

（IFRSベース）では、金融サービス事業の売上高が前年同期比7.3%増の1,293億1,500万円だったものの、税引前利益は同0.8%減少し、374億2,600万円となった。金融サービス事業は、個人株式委託売買代金が同20.6%減少するなど株式市場が低調で証券事業の収益や営業利益は減少したが、FXや銀行、保険事業の業績が拡大し減収をカバーした。

SBI損保の自動車保険の保有契約件数は前年同期比11%増の約88万件、元受正味保険料は同12%増の299億5,000万円と成長を維持。税引前利益（IFRSベース）は1億3,000万円となり、前年同期と比べて6億5,000万円改善するともに、損保率は3.9%、事業比率は2.0%、コンバインド・レシオは5.8%改善している。

SBI生命の第3四半期業績は、経常利益が2億3,200万円、ソルベンシー・マージン比率が122.1%だった他、保有契約件数は約11万件と増えたことから、堅調な業績を維持している。

少額短期保険事業については、SBIリスア少額短期保険の保有契約件数が前年同期比10%増、SBIいきいき少額短期

保険が同3%増加した。また、16年9月に子会社化した日本少額短期保険の保有契約件数は、16年3月末比で4%伸長した。

銀行・保険事業の伸展で金融サービス事業での証券事業への依存度は着実に低下しており、引き続き保険関連事業の商品・サービスを拡充していく。SBI生命は団体信用生命保険を新たに開発し、住信SBIネット銀行の住宅ローンに係る団体について、保険料の半

分相当を引き受ける。来期以降、約5万件的定期保険に相当する収入保険料を見込む。

少額短期保険3社はさらなる伸展に向けて、各社の商品を相互に取り扱う、相互クロス販売を16年12月から部分的に開始している。SBIいきいき少短では現在、ネット保険の開発を進めており、当分の商品認可を前提に、17年1期の販売開始を目指す。

北尾社長は、グループ全体の保険会社を統合する保険持ち株会社を本年度中に設立して、損保、生保、少短3事業の一体化運営により、保険事業のコスト削減や相互間でシナジー効果を図ると

しており、「Fintechの活用を先進的な取り組みと併せて、新しい時代の保険グループの確立を目指す」と強調した。